



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6742 URL <http://www.kyosan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸子台 努  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,565	7.8	△3,715	—	△3,593	—	△2,436	—
25年3月期第2四半期	17,228	△8.1	△3,325	—	△3,325	—	△2,219	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △1,847百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,520百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△38.82	—
25年3月期第2四半期	△35.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	73,430	32,348	44.1
25年3月期	79,266	34,509	43.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 32,348百万円 25年3月期 34,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	8.3	1,100	△9.4	1,100	△18.8	600	435.6	9.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社 ( — )、除外 — 社 ( — )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	62,844,251株	25年3月期	62,844,251株
26年3月期2Q	87,929株	25年3月期	87,473株
26年3月期2Q	62,756,415株	25年3月期2Q	62,757,359株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、財政・金融政策等により緩やかに回復しつつあるものの、全般的な景気回復には至らない状況で推移しました。

このような事業環境のなかで、当社グループは海外展開を中心とした成長戦略の推進および競争力強化に向けた取り組みを推進しております。

受注につきましては、電気機器事業は関連市場の回復の兆しから前年同期を上回りましたが、信号システム事業において、海外案件は堅調に推移するものの国内大口案件の一巡などで前年同期に比べて減少となった結果、全体としては前年同期を下回りました。

売上につきましては、両事業ともに前年同期を上回りましたが、信号システム事業は売上予定案件の納期変更などから小幅な増加となりました。

利益面につきましては、電気機器事業は前年同期より改善したものの、信号システム事業の一部大口案件で想定を上回る損失の発生を見込んだことにより、全体の各利益は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高36,366百万円(対前年同期138百万円減)、売上高18,565百万円(対前年同期1,336百万円増)、営業利益△3,715百万円(対前年同期390百万円減)、経常利益△3,593百万円(対前年同期267百万円減)、四半期純利益△2,436百万円(対前年同期216百万円減)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。

#### [信号システム事業]

鉄道信号システムにおいて、受注はJ R 西日本山陽新幹線全線のATC装置更新、海外案件では中国向け電子連動装置用品や台湾の在来線向け信号設備などがありましたが、前年同期との比較においては減少となりました。売上はシステム製品の納期繰り延べなどから前年同期に比べて僅かな増加にとどまりました。

この結果、受注高31,157百万円(対前年同期2,360百万円減)、売上高15,584百万円(対前年同期238百万円増)となりました。なお、セグメント利益は△1,819百万円(対前年同期475百万円減)です。

#### [電気機器事業]

主力の産業機器用電源装置において、液晶パネル製造装置用がスマートフォンやタブレット分野を中心に上向くとともに、通信設備用電源装置も鉄道事業者向けに信号設備用の拡販を推進したことなどから、受注・売上は前年同期を上回りました。

この結果、受注高5,208百万円(対前年同期2,222百万円増)、売上高2,980百万円(対前年同期1,098百万円増)となりました。なお、セグメント利益は△279百万円(対前年同期265百万円増)です。

なお、当社100%出資子会社である台湾京三股份有限公司の子会社(当社の孫会社)として設立した京上貿易(上海)有限公司が、平成25年10月28日より中華人民共和国上海市において産業機器用電源装置の拡販を図るため営業を開始しました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産、負債および純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5,836百万円減少し、73,430百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は、たな卸資産が6,120百万円増加し、受取手形及び売掛金が14,943百万円減少しました。

負債の部は、受注損失引当金が1,079百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,079百万円、借入金が短期、長期あわせて1,613百万円減少しました。

純資産の部は、利益剰余金が2,750百万円減少しました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ368百万円減少し2,951百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,954百万円のプラスとなりました。これはたな卸資産が6,111百万円増加したものの、売上債権が14,947百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,292百万円のマイナスとなりました。これは本社工場生産拠点再構築等に伴う有形固定資産の取得により1,798百万円減少したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,001百万円のマイナスとなりました。これは短期借入金が2,500百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました業績予想を修正しております。

当該予想の修正につきましては、平成25年9月30日公表の「平成26年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,385	3,346
受取手形及び売掛金	30,212	15,269
製品	3,125	3,488
半製品	2,707	2,662
仕掛品	13,184	18,946
原材料及び貯蔵品	256	297
繰延税金資産	1,523	2,829
その他	142	532
貸倒引当金	△67	△68
流動資産合計	54,472	47,304
固定資産		
有形固定資産	11,754	12,142
無形固定資産	1,048	1,019
投資その他の資産		
投資有価証券	10,708	11,724
繰延税金資産	97	46
その他	1,217	1,225
貸倒引当金	△31	△33
投資その他の資産合計	11,992	12,963
固定資産合計	24,794	26,125
資産合計	79,266	73,430

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,229	11,150
短期借入金	10,000	7,500
1年内返済予定の長期借入金	1,240	1,392
未払法人税等	508	106
役員賞与引当金	26	—
受注損失引当金	517	1,597
環境対策引当金	3	8
その他	8,388	6,290
流動負債合計	32,915	28,046
固定負債		
長期借入金	7,010	7,745
長期未払金	325	310
退職給付引当金	4,047	4,187
資産除去債務	120	121
環境対策引当金	22	55
その他	315	615
固定負債合計	11,841	13,035
負債合計	44,756	41,081
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	20,957	18,207
自己株式	△28	△29
株主資本合計	31,824	29,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,711	3,337
為替換算調整勘定	△25	△63
その他の包括利益累計額合計	2,685	3,274
純資産合計	34,509	32,348
負債純資産合計	79,266	73,430



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	17,228	18,565
売上原価	16,166	17,667
売上総利益	1,062	897
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,205	1,215
賞与	342	295
役員賞与引当金繰入額	20	—
退職給付費用	139	165
減価償却費	88	91
荷造及び発送費	405	420
貸倒引当金繰入額	△3	1
その他	2,189	2,424
販売費及び一般管理費合計	4,387	4,613
営業損失（△）	△3,325	△3,715
営業外収益		
受取配当金	72	79
受取保険金	99	69
受取補償金	17	3
為替差益	—	18
その他	40	60
営業外収益合計	230	230
営業外費用		
支払利息	77	74
資金調達費用	114	23
為替差損	30	—
その他	7	10
営業外費用合計	230	108
経常損失（△）	△3,325	△3,593
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	33	11
投資有価証券評価損	34	—
ゴルフ会員権評価損	3	3
環境対策引当金繰入額	—	41
特別損失合計	72	56
税金等調整前四半期純損失（△）	△3,395	△3,649
法人税等	△1,175	△1,213
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△2,219	△2,436
四半期純損失（△）	△2,219	△2,436

四半期連結包括利益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,219	△2,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△287	626
為替換算調整勘定	△13	△37
その他の包括利益合計	△301	588
四半期包括利益	△2,520	△1,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,520	△1,847
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△3,395	△3,649
減価償却費	741	724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	36	139
受取利息及び受取配当金	△73	△97
支払利息	77	74
売上債権の増減額 (△は増加)	13,471	14,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,168	△6,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,112	△1,081
その他	△31	△506
小計	1,543	4,442
利息及び配当金の受取額	73	85
利息の支払額	△87	△71
法人税等の支払額	△1,048	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	480	3,954
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50	△441
定期預金の払戻による収入	—	95
投資有価証券の取得による支出	△13	△13
非連結子会社株式の取得による支出	—	△30
有形固定資産の取得による支出	△495	△1,798
無形固定資産の取得による支出	△110	△75
その他	△138	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△808	△2,292
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	△2,500
長期借入れによる収入	2,000	1,500
長期借入金の返済による支出	△4,613	△613
配当金の支払額	△313	△313
その他	△62	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△989	△2,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,319	△368
現金及び現金同等物の期首残高	3,453	3,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,134	2,951

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	15,345	1,882	17,228	—	17,228
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	589	589	△589	—
計	15,345	2,472	17,818	△589	17,228
セグメント損失(△)	△1,344	△544	△1,889	△1,436	△3,325

(注)1. セグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,436百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	1,341	107	1,448
II 連結売上高(百万円)	—	—	17,228
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.8%	0.6%	8.4%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ、ブラジル等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	15,584	2,980	18,565	—	18,565
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	963	963	△963	—
計	15,584	3,944	19,529	△963	18,565
セグメント損失(△)	△1,819	△279	△2,099	△1,616	△3,715

(注)1. セグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,616百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	2,557	49	2,607
II 連結売上高(百万円)	—	—	18,565
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.8%	0.2%	14.0%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ、ブラジル

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。